

## とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都文京区湯島 1-10-5 湯島 D&A ビル 1 階
園名	ソラストお茶の水第一保育園

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

魔法のデザート！プルプル変化探究

<テーマの設定理由>

- **子どもの興味関心:** 粘土や水遊びなど、触れることで形が変わるものに強い関心を示していました。給食に出てくるゼリーなどの食感も大好きなことから、「液体が固まる」という不思議な現象をテーマに選びました。
- **園の特色:** 2 歳児の「自分でやりたい(自律心)」を尊重し、エプロンを着用することで「お料理名人」としての意識を高める環境構成を大切にしています。

### 2. 活動スケジュール

- 令和 8 年 2 月: 導入(お料理の絵本の読み聞かせ)
- 令和 8 年 2 月中旬: フルーチェ作り実践
- 令和 8 年 2 月下旬: ドキュメンテーションによる振り返りと共有

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- **素材:** フルーチェの素、冷たい牛乳
- **道具:** 透明なボウル(変化が見えやすいよう)、泡立て器、スプーン、数種類から選べるエプロン
- **環境:** 集中できるよう 4 人ずつの少人数グループで実施。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

エプロンを自分で選び、「お料理名人」に変身した子どもたちは、ボウルに入ったピンク色の液体を真剣な表情で観察。牛乳を注ぐと「白くなった!」と色の変化に驚き、泡立て器で混ぜ始めると、次第に手応えが重くなる感触に「重たくなってきたよ」「プルプルだ!」と歓声を上げました。保育者が「どうして固まったのかな?」と問いかけると、じーっと中を覗き込み、「魔法をかけたから!」と想像を膨らませる姿も見られました。

#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

エプロンを着用した瞬間、子どもたちの表情が引き締まり、普段の遊びよりも「丁寧に扱う」という意識が芽生えたことに驚きました。単に作るだけでなく、重さや質感の変化を自分の手で感じる事が、言葉の獲得(「とろとろ」「ぶるん」など)にも繋がると実感しました。



to

## とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都文京区湯島 1-10-5 湯島 D&A ビル 1 階
園名	ソラストお茶の水第一保育園

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

バリバリ・ギュッギュ！音と感触の探究

<テーマの設定理由>

- **子どもの興味関心:** 普段の給食で見る野菜が「元はどんな形なのか」に興味を持ったことからスタートしました。「ちぎる」「握る」という手指の発達を促す動作を通じ、素材の解体と再構築を楽しみます。
- **園の特色:** 食材に直接触れる体験を重視しています。2 歳児クラスでは、音や手触りなどの五感を言葉にする表現活動を大切にしています。

### 2. 活動スケジュール

- 令和 7 年 12 月: 白菜の観察とちぎり体験
- 令和 8 年 3 月中旬: おにぎり作り(白菜ちぎりから繋がる活動)
- 令和 8 年 3 月: 振り返りと共有

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- **素材:** 丸ごとの大きな白菜、炊きたてのご飯(ラップに包んだ状態)
- **道具:** 大きなビニールシート、カゴ、エプロン
- **環境:** 床にシートを敷き、全身を使って大きな白菜と向き合える開放的なスペース。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

丸ごとの大きな白菜を目の前になると、子どもたちは「おもーい!」「大きい!」と大興奮。葉を一枚ずつ剥がしては、ちぎる時の「バリバリ」「パリパリ」という音の違いに耳を澄ませていました。その後、エプロンを締めて「おにぎり作り」へ移行する予定。

#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

白菜を細かくちぎることに集中する子、音を鳴らすことを楽しむ子など、一つの素材に対して多様なアプローチがあることに気づかされました。食材を「知る・触る」ことが、食べることへの意欲に直結することを再確認しました。

